

# 8月の農薬

No. 5 - 1

令和4年8月1日

## 『農薬』の使用による『みつばち』への危害を防ぎましょう。

○農薬を使用する場合、近隣のみつばち飼育の有無を確認しましょう。

※みつばち飼育の情報は、山形県農林水産部畜産振興課 (TEL:023-630-2435) にお問い合わせください。

○みつばち飼育者に対して、農薬散布の情報 (散布時期、時間帯、薬剤の種類・名称など) を事前に提供しましょう。

### 水 稲

#### 県のカメムシ防除に係る指導内容

- ①防除適期は、穂揃期と穂揃期の7~10日後の2回。
- ②ネオニコチノイド系薬剤を使用する場合は、穂揃期7~10日後が最適。
- ③日頃から、畦畔、農道の除草に努める。
- ④出穂前の除草はカメムシ類の水田内侵入を助長するので行わない。

なお、やむを得ずこの時期に除草する場合は、防除計画と合わせて行う。

時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	効 果	使 用 方 法、使 用 薬 量	
8月上旬(出穂期)・8月上旬(穂揃期)	ダブルカット粉剤3DL	3kg	—	穂 い も ち (第1回—穂孕後期)	治・予	いもち病の発生が例年以上となっています。既に発生が見られている圃場では、治療効果のある剤を散布してください。10a当り3~4kg散布する。  ※カスミン剤は連用しない。	
	ラブサイド粉剤DL		—		予防		
	ビーム粉剤DL		—		予防		
	ノンプラス粉剤DL		—		治・予		
	プラシン粉剤DL		—		治・予		
	ノンプラスフロアブル		—		治・予		
	ダブルカットフロアブル		—		治・予		
	トライフロアブル		—		治・予		
	カスミン液剤		500ml		治・予		
	ラブサイドフロアブル		—		予防		
	ビームゾル		○		予防		
8月上旬～中旬	バリダシン粉剤DL	3kg	—	紋 枯 病	10a当り3~4kg散布する。		
	モンカットファイン粉剤20DL		—		1,000倍(100ml/100ℓ)を10a当り120ℓ散布する。		
	バシタックゾル		500ml		※カスミンおよびダブルカット単剤、混合剤は使用時期「穂揃期まで」を厳守する。		
	モンカットフロアブル		—		※カスミンおよびカスラブサイド・ダブルカット単剤、混合剤については、使用時期が「穂揃期まで」となっていますので、穂揃期以降に使用させない様注意して指導をお願いします。		
8月上旬～中旬(穂揃期～穂揃期)	キラップ粒剤	3kg	—	カ メ ム シ 類	出穂期～穂揃期に使用する。キラップ粒剤、スタークル粒剤は3kg/10a、ダントツ粒剤は3~4kg/10aを湛水散布する。		
	スタークル粒剤	3kg	—		10a当り3~4kg散布する。		
	スミチオン粉剤3DL	—	—		1,000倍(100ml/100ℓ)を10a当り120ℓ散布する。		
	トレボン粉剤DL	3kg	—		10a当り3~4kg散布する。		
	MR.ジョーカー粉剤DL		—		1,000倍を10a当り120ℓ散布する。		
	スミチオン乳剤	500ml	—		1,000倍を10a当り120ℓ散布する。		

時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	使 用 方 法、使 用 薬 量
8月上旬(出穂期)～8月上旬(穂揃期)	トレボン乳剤	500ml	—	斑力メムシ類	トレボン乳剤は2,000倍、トレボンEWは1,000倍で散布する。合ビレ剤なので、蚕毒に注意する。
	トレボンEW	500ml	—		
	MR.ジョーカーEW	500ml	—		
8月中下旬(穂揃期～穂揃期)	キラップ粉剤DL	3kg	—	斑力メムシ類	10a当り3~4kg散布する。
	キラップ微粒剤F	3kg	—		10a当り3kg散布する。
	スタークル粉剤DL	3kg	—		2,000倍、10a当り120ℓ散布する。
	キラップフロアブル	500ml	—		1,000倍、10a当り120ℓ散布する。
	スタークル液剤10	—	—		2,000倍、10a当り120ℓ散布する。
	エクシードフロアブル	500ml	—		
	ラブサイドスタークル粉剤DL	3kg	—		
	トライスタークル粉剤DL	3kg	—		
	トライK粉剤DL	3kg	—	穂力メムシ類	10a当り3~4kg散布する。
	プラシンダントツ粉剤DL	3kg	—		
	プラシンキラップ粉剤DL	3kg	—		
8月上旬(出穂期)～8月上旬(穂揃期)	ノンプラスバリダ粉剤DL	3kg	—	穂紋枯病	10a当り3~4kg散布する。
	プラシントレバリダ粉剤DL	3kg	—		10a当り3~4kg散布する。

○合成ビレスロイド剤(トレボンEW、乳剤、粉剤DL)は、蚕、魚類に対する毒性が特に強いので、桑園、養魚池、河川の近くでは使用しない。また、MR.ジョーカー剤、ダントツ剤、スタークル剤は蚕に対する毒性が特に強いので桑園の近くでは使用しない。(県防除基準合成ビレスロイド剤等安全対策(7頁)参照)

※カスミンおよびカスラブサイド・ダブルカット単剤、混合剤については、使用時期が「穂揃期まで」となっていますので、穂揃期以降に使用させない様注意して指導をお願いします。

### おうとうのカイガラムシ対策の中心薬剤 アプロードフロアブルの適用作物および害虫(ブロフェジン200%)

作 物 名	適 用 害 虫 名	希 釀 倍 数	散 布 液 量	使 用 時 期	総 使 用 回 数 *
おうとう	カイガラムシ類幼虫	1,000~1,500倍	200~700ℓ	収穫7日前まで	2回以内

#### 特 長

- 幼虫の脱皮を阻害し、齢末期～脱皮時に死亡させる昆蟲成長制御剤である。
- 殺成虫力はないが、未ふ化卵を産下させる作用をもつため、次世代の増殖を少なくし密度抑制に寄与する。
- 多くの天敵に対して悪影響がなく、天敵の保護・活用場面にも適した薬剤である。
- 哺乳動物に対する毒性は極めて低く、高度な選択性を有する。
- フロアブル製剤のため薬剤の秤量がしやすく、作物に対する汚れも少ない。

#### おうとうのカイガラムシ防除の考え方と防除時期

- 本来は休眠期と5月下旬から6月上旬の第1回目の孵化期が防除時期となるが、おうとうの場合収穫期と重なる場合があるため7月下旬から8月上・中旬にかけての第2回目の孵化期に防除する。また、発生密度が高く多発している場合はスプラサイド水和剤等の有機リン剤と体系防除を行う。

#### カイガラムシの発生予察法について(8月上旬～中旬の孵化期防除のために)

- 予察方法
  1. カイガラムシが発生している枝の上方にビニールテープを巻き付ける。(テープの色は赤、黄色系は避けたほうがよい。)
  2. 巻きつけたテープの上に両面テープを取り付ける。
  3. あまり長い間放置すると粘着力が弱くなるので定期的に両面テープを取り替えながら、幼虫の発生状況を確認する。
  4. カイガラムシの幼虫はオレンジ色をしている。
  5. 取り付けは8月5日までに完了する。

・本資料は防除の一例です。気象条件や作物の生育状況をふまえ、県関係機関にご相談のうえ、現場に沿った適正な防除指導をお願いいたします。

・農薬は登録内容が変更になる場合がございます。使用前に再度登録内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。

もっと近くに。

全農山形県本部 生産資材部

電話番号 023-687-8700

FAX番号 023-634-8182

農薬はJAマークの製品を!

先入れ先出しの励行を!

# 8月の農薬

No. 5 - 2

令和4年8月1日

農作業前の農機具の点検確認やドリフト対策をしっかりと行い安全で適正な防除に努めましょう。

## りんご

- ・斑点落葉病の重点防除時期です。
- ・殺ダニ剤はハダニの発生初期に散布する。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考
8月上旬	※ 殺虫剤			シングライムシ類 シハマキムシ類 (クワコナカイガラムシ) (ケムラムシ類) (ハダニ類)	下記のいずれか		
	※ 有機銅剤				下記のいずれか		
	ロブラー水和剤	500g	-	斑点落葉病	1,500倍 67g	700ℓ 467g	混用
	ナリア WDG	250g	-	黒斑点落葉病	2,000倍 50g	700ℓ 350g	いずれかを殺虫剤と混用し散布
	ベルクートフロアブル	500mℓ	-	黒斑褐輪点落葉病	1,000倍 100mℓ	700ℓ 700mℓ	
	展着剤						
8月下旬	※ 殺虫剤			モモンクイガ キンモンホソガ	下記による		
	※ 有機銅剤			黒斑点落葉病			
	展着剤						

## ※ 有機銅剤

農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考
オキシラン水和剤	500g 1.67kg	-	斑褐輪点落葉病	600倍 167g	700ℓ 1,167g	いずれかを使用する。
オキシンドー水和剤80	500g 835g	-		1,200倍 83g	700ℓ 583g	
ドキリンフロアブル	500mℓ	-		1,000倍 100mℓ	700ℓ 700mℓ	

## ※ 殺虫剤

農薬名	規格	譲渡書	モモンクイガ	キンモンホソガ	倍数水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	ボルドー混用	備考
スタークル顆粒水溶剤	250g 500g	-	○	○	2,000倍 50g	SS 600ℓ 手散布 700ℓ	○	いずれかを使用する。
バリアード顆粒水和剤	100g 250g	○	○	○	2,000倍 50g		○	
サイアノックス水和剤	500g 1kg	-	○	○	1,000倍 100g		×	
エクシレルSE	200mℓ 500mℓ	-	○	○	5,000倍 20mℓ		○	

④ 早生種の収穫前日数に配慮して、使用してください。

○可、×不可

## ※ 8月のりんご殺ダニ剤

農薬名	規格	譲渡書	リンゴ ハダニ	ナダニ	倍数水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	ボルドー混用	備考
コロマイト水和剤	500g	-	○	○	2,000倍 50g	SS 600ℓ 300g	○	
マイトコーネフロアブル	500mℓ	-	△	○	1,000倍 100mℓ	SS 600ℓ 600mℓ	×	
ダニゲッターフロアブル	250mℓ	-	○	○	2,000倍 50mℓ	SS 600ℓ 300mℓ	×	

※ ダニゲッターフロアブルは、水稻の開花時期に穗に薬害を生じる恐れがあるので注意する。

## ぶどう

さび病、褐斑病、ベと病防除のため棚面上、下から十分散布する。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考
デラウエア 収穫直後	ICボルドー(66D)	5kg	-	さべ (褐 びと 斑 病 病)	50倍 2kg	250ℓ 5kg	雨の多い場合 いずれか 棚上散布
	ダントツ水溶剤	125g 250g	-	フタテンヒメヨコバイ コガネムシ類	2,000倍 50g	250ℓ 125g	
	ICボルドー(48Q)	5kg	-	ベと病	50倍 2kg	250ℓ 5kg	
	コロマイト水和剤	500g	-	ハダニ類	2,000倍 50g	250ℓ 125g	

## もも

中、晩生種の灰星病(ホモプシス腐敗病)とシンクイムシ、モモハモグリガ、カイガラムシの防除適期です。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考
8月上旬	ダイアジノン水和剤	500g	○	シンクイムシ類 カイガラムシ類	1,000倍 100g	400ℓ 400g	混用し散布する
	ロブラー水和剤	500g	-		1,500倍 67g	400ℓ 267g	
	ナリア WDG	250g	-		2,000倍 50g	400ℓ 200g	
	ベルクートフロアブル	500mℓ	-		2,000倍 50mℓ·g	400ℓ 200mℓ·g	
	オンリーワンフロアブル	250mℓ	-		5,000倍 20mℓ	400ℓ 80mℓ	
	インダーフロアブル	100mℓ	-				

## 西洋なし

- ・輪紋病とシンクイムシの重点防除時期です。
- ・殺ダニ剤はハダニの発生初期に散布する。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考
8月上旬	オキシラン水和剤	500g	-	輪紋病 (炭)	600倍 167g	600ℓ 1,000g	混用し散布する
	ドキリンフロアブル	500mℓ	-		1,000倍 100mℓ	600ℓ 600mℓ	
	サムコルフロアブル10	200mℓ	-		5,000倍 20mℓ	600ℓ 120mℓ	
	アグロスリン水和剤	500g	○		1,000倍 100g	600ℓ 600g	
8月中下旬	※ 殺ダニ剤						
	オキシンドー水和剤	500g	-	輪紋病	1,200倍 83g	600ℓ 500g	いずれか 混用し散布する
	ナリア WDG	250g	-	黒斑病、黒星病 輪紋病、うどんこ病	2,000倍 50g	600ℓ 300g	
	スタークル顆粒水溶剤	250g	-		2,000倍 50g	600ℓ 300g	
	エクシレルSE	200mℓ 500mℓ	-	シンクイムシ類	5,000倍 20mℓ	600ℓ 120mℓ	
	展着剤						

## ※ 殺ダニ剤

薬剤名	使用濃度	使用時期		対象のハダニ		ボルドー液との混用	注意事項
		7月	8月	リンゴ ハダニ	ナミ ハダニ		
コロマイト水和剤	2,000倍		○	○	○	×	ル・レクチェに 葉害の恐れ
マイトコーネフロアブル	1,000倍	○	○	○	○	×	ボルドー液との 間隔を前後2週間 以上あける